

第 41 回 法人会全国大会(高知大会)が開催されました。

日付：令和 7 年 10 月 16 日(木)

場所：高知県民文化ホール 他

報告：副会長 高尾 修

高知と言えば、池田法人会からは日常に会合やショッピングに通うほど近しい隣県です。自県開催のような不思議な感覚のなか 4 名で参加しました。お昼前には「ひろめ市場」に到着。わりと空いていると思ったが、時間と共に法人会員らしき人達でいっぱいになりお腹を満たして早々に席を譲り会場へ向かいました。

会場に向かう道にも会場付近にも赤い法被の高知県連の皆さんが歓迎の言葉をかけてくれ、入り口まで来るとウエルカムイベントの「よさこい鳴子踊り」のリズムが聞こえ、よさこい祭りの時のように気分が高揚してきました。

≪第 1 部 記念講演≫ 演題「変化の時代の経営、危機をチャンスに」

元ローソン・ジャパン代表の都築富士男氏のお話はとても興味深く経営のヒントにと耳を傾けました。

時代の変化によって生まれる課題を明確にし、解決する仕組みを作り参入すること。変化に適應できなければ衰退する。マーケティング・コラボレーション・ベンチマークの例を挙げて説明。経営者やリーダーに求められるのは、情報収集力と先見力そして課題解決力だと。反対する敵は自分の中にある既成概念であるとおっしゃられ、1 時間では時間が足りないなあと感じながら傾聴してきました。

≪第 2 部 式典≫ 高知県連 山元会長の挨拶に始まり、斎藤全法連会長、来賓の方々からご挨拶があり、「令和 8 年度 税制改正に関する提言」が全法連 飯野税制委員長から読み上げられ、会員増強・高研修率・福利厚生制度の表彰と続きました。次に令和 6 年度全国青年の集いにて最優秀賞を獲得した「租税教育プレゼンテーション」「健康経営 法人会部門」の報告があり、最後に次回開催〈茨城県連〉の PR と閉会の挨拶で終了。

≪第 3 部 懇親会≫ マグロの解体ショーで始まり、テーブルいっぱい土佐の名物料理・郷土料理が並び土佐の清酒や K ビールとともに胃袋も満たされて満足の大会でした。

ご準備いただいた高知県連のみなさまの心のこもったおもてなしに感謝するとともに、大変ご苦勞様でした、ありがとうございました。

大会宣言(要約)

日本銀行は、昨年マイナス金利政策を解除し、金利のある世界に回帰したが、今後も金利の上昇が続けば国債の利払いも増え財政を圧迫しかねない。財政健全化は国家的課題であり、本格的な歳入・歳出の一体化改革を進めることが重要である。

地域経済や雇用の担い手である中小企業は、日本経済の礎であり、中小企業の活性化を促進するためには、税制上のきめ細かな支援が不可欠である。そのため法人会は「中小企業の活性化に資する税制措置」「事業承継税制の拡充」等を中心とする「令和 8 年度 税制改正に関する提言」の実現を強く求めるものである。